

# 定期作況報告

平成23年6月  
(6月20日現在)

北海道立総合研究機構 北見農業試験場

# 1. 気象経過

5月下旬：最高気温は平年よりやや低く、最低気温は低く、平均気温は平年よりやや低かった。降水量は平年より少なかった（平年比47%）。日照時間は平年よりやや多かった（平年比123%）。5月24日に晩霜が観測された。

6月上旬：最高気温は平年より高く、最低気温および平均気温は平年並であった。降水量は平年より多かった（平年比183%）。日照時間は平年よりやや多かった（平年比129%）。6月10日に降霜が観測された。

6月中旬：最高気温は平年より低く、最低気温はやや高く、平均気温は平年よりやや低かった。降水量は平年より多かった（平年比179%）。日照時間は平年よりやや少なかった（平年比69%）。

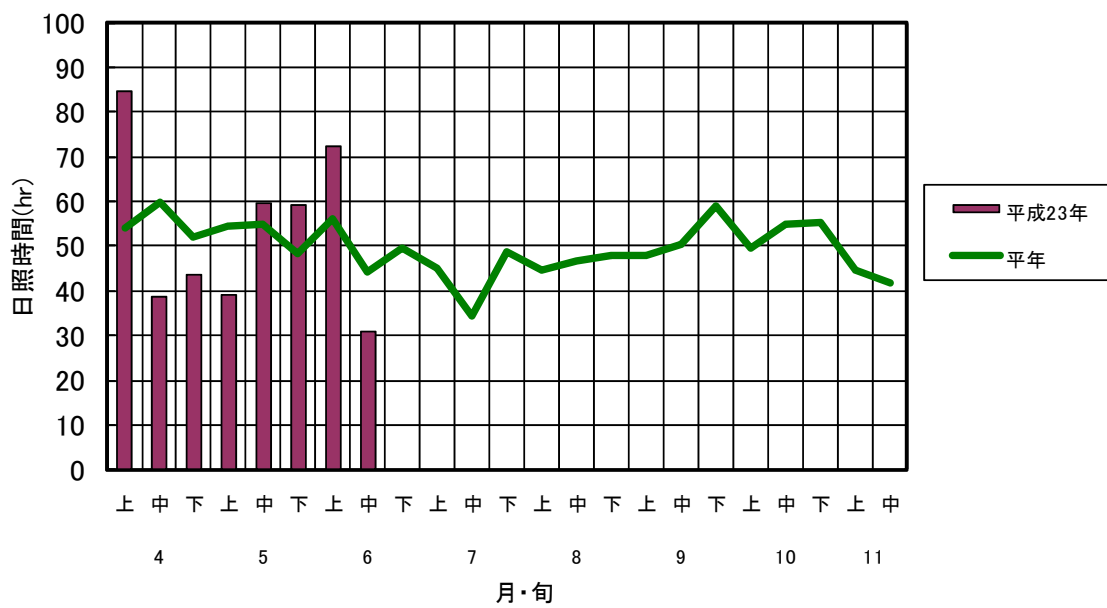
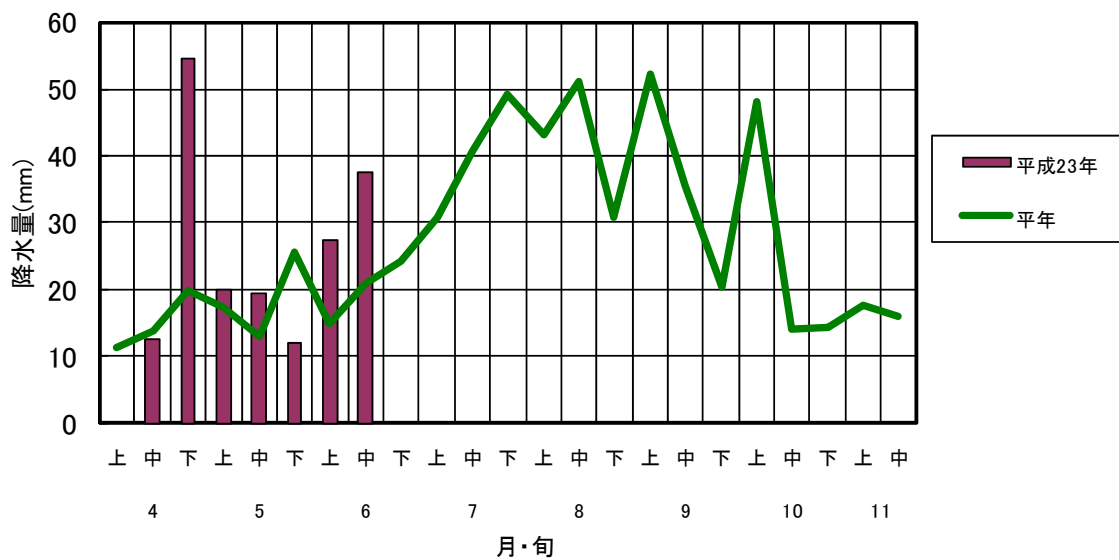
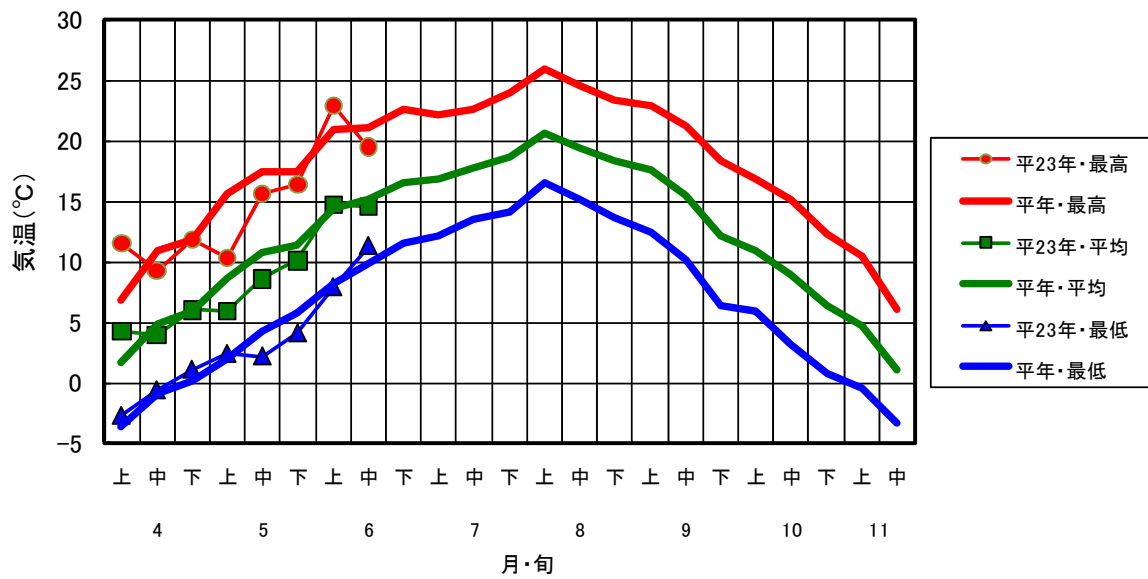
以上のことから、この1か月間（5月下旬～6月中旬）は平年と比較して、気温がやや低く、降水量はやや多く、日照時間は平年並であった。

気 象 表

項目 月・旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
5月下旬	10.1	11.4	△ 1.3	16.4	17.4	△ 1.0	4.1	5.8	△ 1.7
6月上旬	14.7	14.4	0.3	22.9	21.0	1.9	7.9	8.2	△ 0.3
6月中旬	14.6	15.2	△ 0.6	19.5	21.1	△ 1.6	11.3	9.8	1.5

項目 月・旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
5月下旬	12.0	25.5	△ 13.5	59.3	48.3	11.0
6月上旬	27.5	15.0	12.5	72.4	56.1	16.3
6月中旬	37.5	20.9	16.6	30.7	44.2	△ 13.5

- 注) 1) 観測値は、置戸町境野のアメダスデータである。  
2) 平年値は前10か年間の平均である。



## 2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走管内全体を代表するものではありません。

### 1) 秋まき小麦 作況：やや良

事由：5月下旬の平均気温は平年よりやや低かったが、6月上旬の平均気温が平年並であったことから生育は概ね順調に進んだ。「ホクシン」の出穂期は平年より1日遅い6月10日であったが、6月中旬の平均気温が平年より低かったため、その後の生育はやや停滞している。草丈はほぼ平年並みで茎数は平年より多い。6月10日に試験圃場において降雹があり、止葉・穂がわずかに折損したが、被害は軽微であった。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	ホクシン			きたほなみ(参考)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
出穂期 (月・日)	6.10	6.9	1	6.11	6.12	△1
草丈(cm) (6月20日)	91.7	91.0	0.7	88.5	88.8	△0.3
茎数(本/m <sup>2</sup> ) (6月20日)	929	741	188	920	779	141

注) 「ホクシン」の平年値は前7か年中、平成17年(最豊)、18年(最凶)を除く5か年の平均。

「きたほなみ(参考)」の平年値は前6か年の平均。

### 2) 春まき小麦 作況：平年並

事由：5月下旬から6月中旬は、気温が平年よりやや低く、降水量はやや多く、日照時間は平年並であった。草丈、茎数は平年並であり、生育は順調である。6月10日に降雹が観測されたが、被害はほとんど無かった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	春よ恋			ハルユタカ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm) (6月20日)	67.7	69.1	△ 1.4	65.8	67.0	△ 1.2
茎数(本/m <sup>2</sup> ) (6月20日)	832	815	17	795	808	△ 13

注) 平年値は前7か年中、平成18年(最豊)、22年(最凶)を除く5か年の平均。

### 3) とうもろこし 作 況：平年並

事 由：播種期は平年と同じ5月17日であった。播種後5月下旬はやや低温に経過したため、出芽期は平年より1日遅い5月31日であった。出芽後は6月中旬の気温が平年より低く推移したものの、草丈、葉数ともに平年並に達している。なお、6月10日の降雹による被害はなかった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	チベリウス		
	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.17	5.17	0
出芽期 (月.日)	5.31	5.30	1
草丈(cm) (6月20日)	32.2	31.2	1.0
葉数(枚) (6月20日)	4.7	4.7	0.0

注) 平年値は前7か年中、平成19年(最豊)、21年(最凶)を除く5か年の平均。

### 4) 大 豆 作 況：平年並

事 由：平年より1日遅い5月24日に播種を行った。出芽期は平年と同日であった。出芽後、6月中旬の平均気温はやや低かったが、降水量が多く、日照時間が少なかった。そのため、やや徒長気味に生育しており、本葉数は平年並であるが、主茎長は平年を上回っている。なお、6月10日の雹により、初生葉の一部が破れたが被害程度は軽微であった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	ユキホマレ		
	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.24	5.23	1
出芽期 (月.日)	6.8	6.8	0
主茎長(cm) (6月20日)	12.3	9.1	3.2
本葉数(枚) (6月20日)	0.8	0.7	0.1

注) 平年値は前7か年中、平成17年(最豊)、21年(最凶)を除く5か年の平均。

5) 小豆 作況：平年並

事由：平年より2日遅い5月24日に播種を行った。出芽期は平年と同日であった。出芽後、6月中旬の平均気温はやや低かったが、降水量が多く、日照時間が少なかった。そのため、やや徒長気味に生育しており、本葉数は平年並であるが、主茎長は平年を上回っている。なお、6月10日の雹により、初生葉の一部が破れたが被害程度は軽微であった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	サホロシヨウズ			エリモシヨウズ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.24	5.22	2	5.24	5.22	2
出芽期 (月.日)	6.10	6.10	0	6.11	6.11	0
主茎長(cm) (6月20日)	4.9	3.2	1.7	4.9	3.4	1.5
本葉数(枚) (6月20日)	0.3	0.4	△ 0.1	0.2	0.3	△ 0.1

注) 平年値は前7か年中、平成15年(最凶)、20年(最豊)を除く5か年の平均。

6) 菜豆 作況：平年並

事由：平年より2日遅い5月24日に播種を行った。出芽期は平年より1日遅かった。出芽後、6月中旬の平均気温はやや低かったが、草丈、本葉数ともほぼ平年並である。なお、6月10日の雹による被害はなかった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	大正金時		
	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.24	5.22	2
出芽期 (月.日)	6.7	6.6	1
草丈(cm) (6月20日)	10.6	9.6	1.0
本葉数(枚) (6月20日)	0.7	0.6	0.1

注) 平年値は前7か年中、平成19年(最凶)、22年(最豊)を除く5か年の平均。

7) ばれいしょ 作 況 : やや不良

事 由 : 植え付けは平年より3日遅い5月16日であり、萌芽期は植え付けの遅れを反映して「男爵薯」、「コナフブキ」とも2日遅かった。その後、6月上旬は気温が上昇し、適度な降雨もあったことから地上部の生育が進んだが、6月中旬の低温により緩慢となったため、「男爵薯」、「コナフブキ」とも平年より茎長はやや短く、茎数もやや少なかった。なお、6月10日の降雹による被害はごく軽微であった。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	男爵薯			コナフブキ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
植付期 (月.日)	5.16	5.13	3	5.16	5.13	3
萌芽期 (月.日)	6.5	6.3	2	6.8	6.6	2
茎長(cm) (6月20日)	13.4	17.9	△4.5	13.7	18.4	△4.7
茎数(本/株) (6月20日)	3.2	3.7	△0.5	2.6	3.1	△0.5

注) 平年値は前7か年中、平成16(最凶)、17年(最豊)を除く5か年の平均

8) てんさい 作 況 : やや不良

事 由 : 6月上旬の高温・多照により地上部生育の遅れを取り戻したものの、移植栽培では6月10日の降雹の影響を受け、草丈、茎葉重および根重は平年を下回っている。一方、降雹の被害がわずかであった直播栽培では、草丈、生葉数、茎葉重および根重は平年並である。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	移植						直播		
	モノホマレ			アーベント			モノホマレ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm) (6月20日)	23.9	27.1	△3.2	23.8	26.8	△3.0	14.4	13.8	0.6
生葉数(枚) (6月20日)	10.7	11.2	△0.5	10.5	10.6	△0.1	6.5	6.3	0.2
茎葉重(g/個体) (6月20日)	83	104	△21	80	101	△21	13	13	0
根重(g/個体) (6月20日)	13	19	△6	15	19	△4	1	1	0

注) 平年値は前7か年中、平成17年(最豊)、22年(最凶)を除く5か年の平均。

9) 牧草(チモシー) 作況: 平年並

事由: 6月5日の草丈は平年並であった。その後6月中旬の気温がやや低かったため、出穂始は平年より1日遅かったが、出穂期は平年並であった。なお6月20日現在、1番草の収穫は未実施である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	ノサップ		
	本年	平年	比較
出穂始 (月.日)	6.16	6.15	1
出穂期 (月.日)	6.20	6.20	0
草丈(cm) (6月5日)	73	69	4

注) 平年値は前7か年中、平成16年(最豊)、21年(最凶)を除く5か年の平均。

10) たまねぎ 作況: 平年並

事由: 5月下旬から6月中旬の平均気温はやや低かったものの、降水量はやや多く、日照時間は平年並であり、両品種とも生育は概ね順調である。6月10日に降雹が観測されたものの、被害は極めて軽微であり、草丈、生葉数及び葉鞘径は、両品種とも平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	改良オホーツク1号			スーパー北もみじ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm) (6月20日)	46.3	42.9	3.4	33.6	33.6	0
生葉数(枚) (6月20日)	6.0	6.1	△0.1	5.6	5.8	△0.2
葉鞘径(mm) (6月20日)	10.1	10.6	△0.5	8.2	8.7	△0.5

注) 平年値は前8か年中、平成17年(最豊)、20年(暴風雨被害により成績を参考扱いとしたもの)、22年(最凶)を除く5か年の平均。



## 平成23年北見農試定期作況報告における季節表の訂正について

○平成23年定期作況報告（5月20日）

### 1. 気象経過 3) 融雪期以降の経過

(誤)

なお、根雪始は平年より3日遅い12月7日、融雪期は平年より3日早い4月7日で、根雪期間は平年より6日間短い122日間であった。耕鋤始は平年より14日遅い5月6日であった。

(正)

なお、根雪始は平年より3日遅い12月7日、融雪期は平年より3日早い4月7日で、根雪期間は平年より6日間短い122日間であった。耕鋤始は平年より9日遅い5月6日であった。

### 1. 気象経過 4) 季節表

耕鋤始の平年4.22を4.27に、比較14を9に訂正

#### 4) 季節表

項目 年次	前年 初霜 月.日	前年 降雪始 月.日	前年 根雪始 月.日	融雪期 月.日	根雪期間 日数	耕鋤始 月.日	降雪終 月.日	晩霜 月.日
本年	平成22年 10.18	10.26	12.7	平成23年 4.7	122	5.6	5.2	5.16
平年	10.10	10.31	12.4	4.10	128	4.27	5.2	5.12
比較	8	△5	3	△3	△6	9	0	4

注) 観測は北見農試（訓子府町弥生）で行い、平年値は前10か年の平均値である。